

### 環境調査結果のお知らせ

本日午前、宇佐漁港周辺のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

採水サンプルを検鏡した結果、無害種のプロロセントラム・ミニナムが増殖していました。

また、有害種のシャットネラ属が最高で31cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で4cells/ml認められました。

**2つの観測点とも、シャットネラ属は漁業被害が想定される細胞密度を超えています。**

**浦ノ内湾内は、全ての観測点でシャットネラ属が被害の想定される細胞密度を超えており、潮汐や風によって宇佐漁港周辺にも移動する可能性があります。**

慎重な養殖管理をお願いします。

表5 プランクトン (cells/ml)

		シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ	プロロセントラム・ミニナム
市場前 透明度: 3.0m	0m	11	0	900
	2m	31	4	2,100
	5m	3	0	900
出荷小割 透明度: 3.0m	0m	1	0	650
	2m	29	0	800
	5m	4	0	450
(参考) 光松 透明度: 1.8m	0m	110	0	5,900
	2m	200	30	5,800
	5m	220	10	4,600
(参考) 大鹿 透明度: 1.6m	0m	2	1	8,100
	2m	620	30	5,200
	5m	21	1	1,000
(参考) 水試小割前 透明度: 1.6m	0m	5	0	4,200
	2m	110	20	5,400
	5m	0	0	500



漁業被害が想定される細胞密度

- ・シャットネラ属:  
10~100cells/ml(魚類のへい死)
- ・カレニア・ミキモトイ:  
数百~5,000cells/ml(魚類などのへい死)